

まほらいな市民大学の様子

令和7年10月10日（金）

まほらいな市民大学

第28期生入学式

入学記念講演『高遠城と武田氏』

講師 伊那市ふるさと大使 長野県立歴史館特別館長 笹本 正治 氏



白鳥 孝 学長 式辞



入学生代表 中山 哲夫さん あいさつ

伊那市の生涯学習の場である「まほらいな市民大学」の第28期生（35名）の入学式が伊那市生涯学習センター ニシザワいなっせホールで行われました。

学長である白鳥 孝 伊那市長から、「今年度“森といきる伊那市”をブランドスローガンに、人と自然がつながる地域社会を大切にしている。お互いに健康に留意され、市民大学で学ぶ楽しさを感じながら、より一層学習を深めていただきたい。」と歓迎のあいさつがありました。第28期生を代表して中山哲夫さんが「長年地元を離れて生活していましたが郷里に戻ってきました。伊那市のことをもっと知りたいと思います。新たな仲間との出会いを大切に楽しい学生生活を送りたい。」と決意を語りました。



入学式に続いて記念講演があり、伊那市ふるさと大使 長野県立歴史館特別館長 笹本正治 氏から『高遠城と武田氏』と題して講演がありました。

伊那や高遠をととても大切に愛情を持って研究されている笹本先生から、高遠はとても重要な場所であり、武田氏と深い関係がある。武田勝頼は高遠諏訪氏の流れであり、勝頼直筆の古文書も見つかっている。小野神社・弥彦神社、霧訪山・守屋山、諏訪大社上社、熱田神社、高遠石工、高遠出身の人物の話など、郷土の歴史を魅力いっぱいに語られました。「地域への誇りを持とう。そして夢を持ち、未来のために歴史を学ぼう。」と熱くお話しいただきました。

学生からは『高遠と武田氏の関係、高遠がいかに重要な場所かよく分かった。』『たいへん興味深い話でした。単なる歴史の話ではなくて、郷土愛を感じられたし、戦争を起こさないためにも未来を真剣に考えなければいけないと思った。』といった感想がありました。